

## Housing Market News

2019 vol.3

2|22 ▶ 3|21

東京ガス株式会社  
営業第二事業部<http://biz.tokyo-gas.co.jp>今月の  
トピック解説

TOPIC

ZEH支援に新たな制度  
新規ビルダーの取組み拡大

ZEHをめぐる支援策について、2019年度に新たな制度がスタートする。ZEHビルダーについて、「新規取組ビルダー」の枠を新設したほか、レジリエンスを強化する住宅への支援も行う予定だ。ZEHは住宅の省エネ性能を高めることによる経済的効果や快適性向上、また、健康的な空間づくりといった居住者に対する大きなメリットがあり、住宅業界においても着実な広がりを見せている。(一社)環境共創イニシアチブによると、2017年度のZEH年間実績は4万4064戸で、なかでも注文住宅は4万2988戸を占めている。

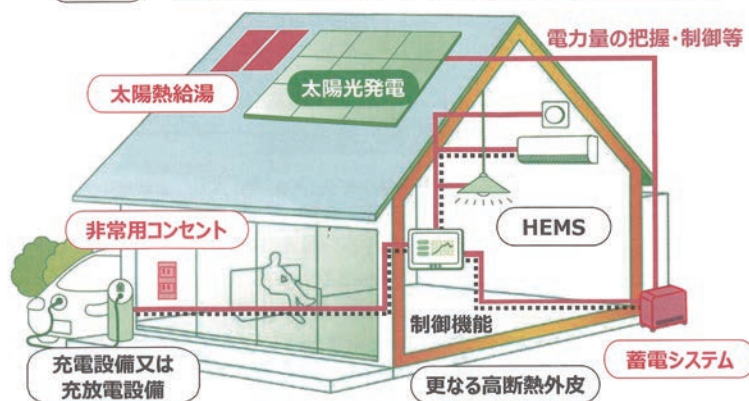
こうした普及を強く後押ししているのが国の支援策。家庭部門のエネルギー対策として住宅の省エネ化を強く進めている。その一つの柱がZEHの普及推進だ。そのため経済産業省、環境省、国土交通省の3省が連携し、さまざまな支援策を打ち出している。

2019年度も前年度に引き続き、多くの支援事業が実施される。戸建住宅に関しては、ZEHについて「ネット・ゼロ・エネルギーハウス化による住宅における低炭素化促進事業」を前年度に引き続き実施。ZEH、Nearly ZEH、ZEH Orientedに対して、定額70万円/戸を補助する。補助は抽選で、複数回の公募が行われる予定だ。この「ネット・ゼロ・エネルギーハウス化による住宅における低炭素化促進事業」について新たな制度が導入される。ZEH関連の補助を受けるためには、ZEHビルダーとして登録してあることが条件となるが、2019年度に新規にZEHに取組むビルダーについては、通常公募とは異なり、建主が不在でも予約申請が可能な「予約枠の申請」を公募する。1ビルダー1枠の予約が可能で、合計約1000枠を想定している。予約申請までにZEHビルダー登録申請を行うことが条件だ。5月上旬頃より予約枠の申請を開始、6～7月中旬に予約枠を使った交付申

## ZEHを活用したレジリエンス強化事業費補助金のイメージ

○ …レジリエンス強化に資するシステムの例

○ …ZEH+で必要となるシステム（3要素のうち2要素以上を採用）



請の公募を行う。ZEHに取組むビルダーのすそ野を広げることが狙いだ。

ZEH+（プラス）については「ZEH+実証事業」が引き続き実施される。ZEH+、Nearly ZEH+が対象で、補助額は定額115万円/戸。事前枠付与方式により実施され、事業者は建築予約戸数を提示し、採択された戸数の範囲内で要件を満たす住宅に対して補助を受ける。年度初めに公募が行われる予定だ。

## レジリエンス強化の取組みも支援

加えて、現在検討されているのが、停電時のレジリエンスを強化した住宅への支援だ。2019年度予算案のうち、臨時・特別の措置として、「ネット・ゼロ・エネルギーハウスを活用したレジリエンス強化事業費補助金」を実施する。例えば、ZEH+の仕様に加え、太陽熱給湯、非常用コンセント、蓄電システム、電力量の把握・制御等を採用する住宅に補助を行う。現在、制度設計中で詳細は未定であるが、ZEH+にレジリエンスの考え方を加えた住宅づくりを進める。

## NEWS

今月の主なニュース

2|22

3|21

- ▶大東建託 街の住みこちランキングを発表 トップ3は広尾、市ヶ谷、北山田
- ▶三井不動産 「公・民・学」連携の実証プラットフォームが始動 AI・IoTなどのプロジェクトを支援
- ▶凸版印刷 水まわりのリフォーム用樹脂製デザインパネルを発売 厚さ1mmで運搬時の負荷軽減と作業性向上を実現
- ▶永大産業 調湿、消臭などの機能を備えた多機能壁材を開発 布目調と石目調の2タイプ7柄を用意
- ▶タカショー 屋根材に化粧建材ボードを採用したテラスを提案 住宅外観とコーディネートしやすく
- ▶積水化学工業 睡眠で実態調査 寝室の音・温熱環境に不満